（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターパステル			
○保護者評価実施期間	令和7年4月21日		～	令和7年5月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17名	（回答者数）	9名
○従業者評価実施期間	令和7年4月14日		～	令和7年5月10日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○訪問先施設評価実施期間	令和7年4月21日		～	令和7年5月20日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	11か所	（回答数）	8か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所と園で子どもの様子を共有することで、保護者と友好な関係を築けれるようサポートしていきます。	保護者の園に対して言いたいことなど、上手く間に入り両者の立場になって、橋渡しのような役割を行うことで友好な関係が築けたのではないかと思います。	今後もさらにいい関係が継続できるようサポートしていきたいと思います。
2	保護者や訪問先からの課題に対して、迅速に対応することを心がけています。	課題に対しての、教材や方法など準備し、次の訪問時には対応できるよう調整を行っています。	訪問支援員の研修や体験を行い、スキルアップの獲得を目指していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問が利用したことで、課題や困りごとが解消できたか、どちらともいえない。	子ども達の成長と共に、解決していく課題も多々あると思いますので、一概に訪問が介入することで変化があったとは思いません。	何かのきっかけの一つにでもなれば訪問支援員が介入する意味があるのではと考えています。今後も訪問先やご家族のニーズに寄り添って支援できればと思います。
2			
3			